

2012年 学会発表(症例報告は除く)

番号	氏名	発表課題名	学会名(場所・年月)
1	片岡葉子	ステロイド外用療法を再考する－何を、どれだけ、どこに、いつまで、ぬるか？－	アトピー性皮膚炎治療研究会第17回シンポジウム, 2012.2.4, 東京
2	吉岡詠理子、前田七瀬、岸田寛子、西野 洋、片岡葉子	乳児アトピー性皮膚炎患者の保護者に対する患者教育の有用性	アトピー性皮膚炎治療研究会第17回シンポジウム, 2012.2.4, 東京
3	中島園美1), 片岡葉子2), 西野 洋2), 岸田寛子2), 前田七瀬2), 吉岡詠理子2) (1)大阪大学大学院 人間科学研究科、2)大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科)	アトピー性皮膚炎教育入院プログラムにおける心理的アプローチ－ストレス・マネジメント－	アトピー性皮膚炎治療研究会第17回シンポジウム, 2012.2.4, 東京
4	片岡葉子	教育入院で何かわるか－重症成人アトピー性皮膚炎に対する治療&教育プログラム”アトピーカレッジ”の心身医学的效果－	第2回日本皮膚科心身医学会, 2012.2.5, 東京
5	中島園美1), 片岡葉子2), 西野 洋2), 岸田寛子2), 前田七瀬2), 吉岡詠理子2) (1)大阪大学大学院 人間科学研究科、2)大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科)	アトピー性皮膚炎教育入院プログラム実施後の心理援助－感情抑圧傾向の症例－	第2回日本皮膚科心身医学会, 2012.2.5, 東京
6	片岡葉子	アトピー性皮膚炎のpitfall	第11回Kinki Hokuriku Airway disease Conference, 2012.4.7, 大阪
7	片岡葉子	重症アトピー性皮膚炎の薬物治療－シクロスポリンの位置づけと治療上のポイント－	第28回日本臨床皮膚科医会総会, 2012.4.22, 福岡
8	片岡葉子	アトピー性皮膚炎外用療法を再考する－”Tight but Safe control”の意義とタクロリムス外用薬の位置づけ－	第24回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012.5.12-13, 大阪
9	中島園美1,2), 片岡葉子2)(大阪大学大学院人間科学研究科臨床心理学講座1)、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科2))	成人アトピー性皮膚炎におけるストレスマネジメント－重症患者教育入院プログラムの経験から	第24回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012.5.12-13, 大阪
10	片岡葉子	アトピー性皮膚炎治療におけるステロイド外用療法のpitfall	第24回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012.5.12-13, 大阪
11	田中謙好	アトピー性皮膚炎患者の療養行動を支える看護ケアについて	第24回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012.5.12-13, 大阪

12	片岡葉子	アトピー性皮膚炎治療のゴール設定とそのpitfall	第111回日本皮膚科学会, 2012.6.1-3, 京都
13	片岡葉子	QOLから読み解くアトピー性皮膚炎の全人的医療	第29回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会, 2012.6.16-17, 大阪
14	片岡葉子、岸田寛子、吉岡詠理子、西野 洋、前田七瀬	重症成人アトピー性皮膚炎に対する治療&教育入院プログラム“アトピーカレッジ”の効果	第42回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会, 2012.7.13-15, 石川
15	片岡葉子	寛解をめざすアトピー性皮膚炎の治療:ステロイド外用療法を再考	第76回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2012.9.30, 札幌
16	片岡葉子	メディカルパートナーとともに創る皮膚科チーム医療ー重症アトピー性皮膚炎の治療・教育・支援へのとりくみからー	第64回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2012.10.27-28, 広島
17	片岡葉子	アトピー性皮膚炎難治化因子の検討と対策	第62回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2012.11.29, 大阪